

2018年
平成30年
4月号

広報

たっこ



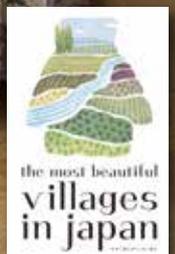
こんなに大きくなりました！

3月15日、田子幼稚園で卒園式が行われ、7名が卒園しました。各学校の卒業式の様子は、裏表紙をご覧ください。

[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
にんにく料理で冬も元気～第11回たっこにんにくまつり～
- トピックス…………… 3
冬を楽しもう！～スノーフェスタ2018～
みんなで話してこするべし～田子町社会教育大会～ ほか
- お知らせ…………… 7

- 公民館情報…………… 10
平成30年度行事予定 ほか
- 図書館情報…………… 11
若い人に贈る読書のすすめ2018
- 情報スクランブル…………… 12
学校の話 田子幼稚園 ほか



第11回
たっこにんにく
まつり

にんにく料理で 冬も元気

2月24日、農業者トレーニングセンターで第11回たっこにんにくまつりが行われました。これは、にんにくまつり実行委員会（工藤義広実行委員長）の主催によるもので、約2100名が来場しました。

会場では、「牛すじ鍋」や「モツもつ鍋」など7種類の鍋料理や、たっこにんにくを使用したオリジナル料理の人気を競う「NINNIKU料理オンリー1グランプリ」といった料理出店のほか、田子町産の黒にんにく、酒まんじゅう、なべこだんご、まめしとぎなどの販売や田子高校郷土芸能部保護者会によるバザー、たっ



↑飲むならタッココーラ
ジャッツ!5959
グランプリ

ご当地スイーツ、お楽しみ抽選会などでにぎわっていました。また、ステージではたっこ王子とのじゃんけん大会や、来年度のガーリックレディを決めるコンテストがあり、まつりを盛り上げました。

ガーリックレディコンテスト



コンテスト出場者全員で記念写真

町内外から6名がエントリーし、応募の動機や意気込みを述べ、ガーリックレディにかかる思いをアピールしました。

審査員からは、にんにくの魅力、町の好きなイベント、どうしたら集客できるかなどの質問があり、受け答えの内容などを踏まえて厳正な審査が行われました。また、来場者100名も審査に参加し、1票を投じました。

◎コンテストの結果

ガーリックレディ 山下真由子（18・田子町）
準ガーリックレディ 山本桃子（22・田子町）
沼倉裕美（31・つがる市）



◎ガーリックレディ 山下真由子さんのコメント

イベントで積極的に田子町をPRしていきたいと思ひます。

34年前のにんにくの醤油漬

1月下旬にみちのく銀行杉本会長の手を介して、山本町長へ手渡された34年前のにんにくの醤油漬がお披露目されました。いただいた醤油漬は、ほうれん草のにんにく醤油がけ、にんにく醤油漬チャーハン、にんにく漬けとクリームチーズのディップに調理し、来場者に提供されました。

当日は、醤油漬を作った「烏清」（青森市）の清藤俊次さんも会場を訪れました。

にんにくの醤油漬を作った清藤さん（左）



第6回NINNIKU料理オンリー1グランプリ

八戸市や二戸市など、町内外から出店した8店舗がそれぞれ自慢のにんにく料理を出品しました。オンリー1の店は来場者によるメダルの投票で決められ、総重量2,530g分のメダルを獲得した、大安食堂のしおてば with たっこにんにくが2年連続のグランプリに輝きました。



行列ができた
大安食堂のしおてば

目指せ自己新記録! (※写真1)

2月10日、創遊村229 スキーランドで第39回田子町学校スキー大会が行われました。これは、町教育委員会と教育振興会の主催によるもので、町内の小学校から約70名の選手が出場しました。

- 小学校の部では、1年生から6年生までの児童が学年男女別に大回転競技に、中学校の部では男女別に大回転競技とクロスカントリ1競技に挑戦。出場した選手は自己記録更新とトップタイムを目指し、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。
- 結果は次のとおりです。
- 小学校女子の部
- ▽4年生以下
 - 1位 尾形優伊奈 (清水頭小4)
 - 2位 袖村風花 (清水頭小1)
 - 3位 中村早希 (田子小2)
 - ▽5年生
 - 1位 袖村香埜 (清水頭小)

- 2位 松橋未来 (田子小)
 - 3位 白澤伶奈 (上郷小)
 - ▽6年生
 - 1位 高館桜安 (上郷小)
 - 2位 日澤実花 (上郷小)
- 小学校男子の部
- ▽4年生以下
 - 1位 櫻場充也 (清水頭小2)
 - 2位 山市純聖 (清水頭小4)
 - 3位 星 斗翔 (清水頭小3)

- ▽5年生
 - 1位 中山昊己 (田子小)
 - 2位 池田一哉 (田子小)
 - 3位 中村悠真 (上郷小)
 - ▽6年生
 - 1位 大久保聖蘭 (清水頭小)
 - 2位 中山聖翔 (田子小)
 - 3位 山市海羽音 (田子小)
- 中学校女子の部
- 1位 富樫心寧 (1年)
 - 2位 大久保瑠七 (1年)
 - 3位 千葉彩乃 (1年)
- 中学校男子の部
- 1位 澤口仁誉 (2年)
 - 2位 梅内 皓 (2年)
 - 3位 櫻場広宣 (1年)
- クロスカントリ1女子の部

- 1位 岩間月美 (2年)
 - 2位 岩間和佳乃 (2年)
 - 3位 笠原風紗 (1年)
- クロスカントリ1男子の部
- 1位 上村叶介 (2年)
 - 2位 名久井楽有 (2年)
 - 3位 杉沢泰盛 (2年)

冬を楽しもう！スキーフェスタ2018

(※写真2)

2月10日、創遊村229 スキーランドでスキーフェスタ2018が開催されました。デュアルレースや雪山宝探しなどの催し物が行われ、会場はにぎわいを見せました。

また、229ドームに屋根台村が特設され、温かい食べ物で来場者らを迎えました。夕方、スキーセンター前に子どもたちが作った雪灯籠の灯りがきれいに灯る頃、冬の夜空に火花が打ち上げられ、来場者らを魅了しました。



(写真1) 華麗なターンでコースを滑走



(写真2) 雪灯籠の作り方を教わる子どもたち

夢の実現〜田子町生涯学習研修会〜 (※写真3)

2月12日、中央公民館で平成29年度田子町生涯学習町民研修会が開催されました。今年度はバルセロナ五輪柔道金メダリストの古賀稔彦さんが、「夢の実現〜挑戦することの大切さ〜」と題して講演し「当たり前前

の大切さ、難しさを知ることが大事」と呼びかけました。この研修会は、町と町連合父母と教師の会の共催で、会場には約150名が詰めかけました。

講師の古賀さんは、「勝負の前に環境を振り返るようになっていく。負けたおかげで、人間は1人ではない」と知ることができた」「今こそ、大人がお手本になる時。我が子の悪いところは親のDNA。良いところは得意なことはその子の努力だと褒めてあげてほしい」などユーモアを交えて話し、参加者は熱心に聞き入っていました。

田子町海外研修〜中・高合同報告会〜 (※写真4)

2月13日、ガーリックセンターで、海外研修中高合同報告会が開かれ、田子中学校(佐藤邦彦校長)2年生10名、田子高校(中村まり子校長)3名が、姉妹都市アメリカガイルロイ市訪問の成果を発表しました。

これらは、町の青少年海外派遣事業によるもので、ホームステイや高校の授業に参加するなど、現地の生活に直接触れ、豊かな国際感覚の育成と語学力の向上を目的としています。

研修生らは、出席した各関係者や保護者に対し、スクリーンに画像を映しながらガイルロイ市での体験や感想を報告しました。また、一様に「行って本当に良かった」「英語をもっと勉強し交流を続けたい」「さらに英語の力をつけたい」と目を輝かせていました。

この海外派遣事業は、中学生は昨年10月27日〜11月3日、高校生は1月5日〜

13日の日程で実施されました。

田子町の元気な女性たち (※写真5)

2月14日、役場で田子地区VIC(ビック)・ウーマン(七日市文子代表)の主催により第10回新春町長と語る会が行われました。

Vic・ウーマンとは、Village Conductor of womanの略称で、地域の「よりよい農林産業とくらし」を指揮する女性リーダーのことで、田子町では6名が県から認定を受け活動しています。

活動報告として視察研修や他地区の女性部との交流で感じたことや、JA女性部の取り組みなど、地域での中心的な役割を担う活動の一端が発表されました。主な提案として、仲間づくり、昔ながらの味の伝承と新たな加工品への取り組みなどの意見が出されました。



(写真3) 来場者へ質問を投げかける古賀さん



(写真4) 田子高校派遣団の発表



(写真5) VIC・ウーマンとの意見交換

田子町災害対策本部 図上訓練 (※写真6)

2月17日、役場庁舎内で大規模な風水害を想定した図上シミュレーション訓練が行われました。この目的は、田子町災害対策本部の業務遂行能力の向上と、防災関係機関との連絡調整機能及び連携体勢の確認、改善点及び課題の洗い出しを行うものです。県防災危機管理課職員や町消防団、三戸消防署田子分署、自衛隊にもご協力いただき、災害発生後の避難勧告等の発令、避難対策の調整や被害状況等の情報収集と整理など、関係機関との連絡調整と応援要請等の手順を確認しました。

みんなで話しつづける べし〜田子町社会教育 大会 (※写真7)

2月18日、中央公民館ホールで田子町社会教育大会が行われました。保護者や

スポーツ推進委員など約30名が参加し、愛媛大学名誉教授で「田子町ふるさと大使」の久保玄次さん(風張出身)を講師に、「少年期の望ましいスポーツ活動のあり方」と題して講演されました。その後、参加者らでワークショップを行い、保護者・指導者・教職員それぞれの立場から、困っていることやうまくいかないことなどを出し合い、子どもたちのスポーツ活動と学習活動を両立させるため、大人ができることは何なのかを話し合いました。

まとめとして、久保さんは「みんなで共有して、取り組んで行けば、より良い未来になると思う。一生懸命やるから楽しいのだと、充実感を与えられる指導が大事」と締めくくりました。

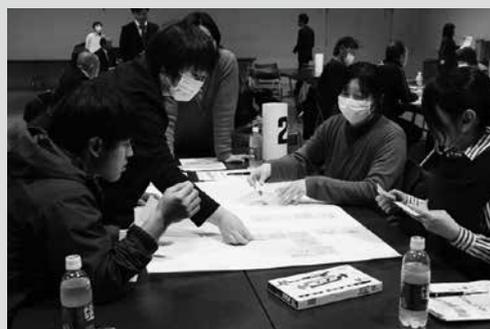
新たな商品がブランド 認定へ〜田子ブランド 新商品認定証交付式 (※写真8)

2月24日、農業者トレニングセンターで田子ブランド新商品認定証交付式が行われました。これは、田子ブランド認定委員会によるもので、田子町の特産品及び地域資源を活かした既存特産品について、ブランド認定を行うものです。今回新たに3社6商品が認定されました。詳細は以下の通りです。

- ▽黒にんにくペースト(株式会社TAKKO商事)
- ▽田子牛しぐれ煮(肉の博明)
- ▽味噌味ガーリックスライス25g(一般財団法人田子町にんにく国際交流協会)
- ▽味噌味ガーリックパウダー25g(一般財団法人田子町にんにく国際交流協会)
- ▽たつこにんにく焼酎「どんでん」(一般財団法人田子町にんにく国際交流協会)
- ▽赤ワイン×黒にんにく(リキュール)クロシユア20ml(一般財団法人田子町にんにく国際交流協会)



(写真6) 対策を検討する町職員



(写真7) ワークショップの様子



(写真8) 認定書の交付を受けるTAKKO商事の佐藤さん

特設コースを猛スピードで滑走 (※写真9)

3月4日、創遊村229

スキースタッフで「キャプテンズスタッグカップソリワングランプリ2018世界大会」が行われました。これは、町スノーボード協会と創遊村229スキースタッフの主催によるもので、参加者はシングル1部(小学生)16名、シングル2部(中学生以上)34名、ペアの部(小学生2年生以下・20歳以上)13組、ペアの部(エキシビジョン)20歳以上)5組、合計86名のエントリーで、県内はもとより秋田県・岩手県からの参加もあり、毎年参加しているという親子連れもいらっしやいました。

結果は次のとおりです。

●シングル1部(小学生)

- ▽第1位 中山侑久(田子町)▽第2位 山田玉青(八戸市)▽第3位 築田涼佑(田子町)▽第4位 山本千智(八戸市)

●シングル2部(中学生以上)

- ▽第1位 田中館光世(田子町)▽第2位 梅内俊也(二戸市)▽第3位 宮村尚哉(田子町)▽第4位 小坂翔二(南部町)

●ペアの部

- ▽第1位 中山昌子・稟菜(田子町)▽第2位 築田雅子・涼佑(田子町)▽第3位 渡辺兼治・謙信(八戸市)▽第4位 道尻直美・町優翔(八戸市)

●ペアの部(エキシビジョン)

- ▽第1位 中山倫一・中山昌子(田子町)▽第2位 大湊志寿子・千葉晴美(野辺地町)▽第3位 尾形蓮・藤田謙一(田子町・盛岡市)▽第4位 木村理久・木村晴菜(南部町)▽第5位 山内学・桑田佳代子(大鰐町)

3月29日提任開始!!

「ガリステごはん」リニューアル!! (※写真10)

2016年3月29日にデビューした「ガリステごはん」(略称)の前菜9品が一新されます。新たな前菜9品は、「スタイリッシュに」

をテーマに、にんにくの「栄養面」「おいしさ」「意外性」といった訴求ポイントをもとに創作、前菜でフルコースを表現しました。また、トッピングとみそ汁の具も変更になりました。まだ食べたことのない方は、ぜひリニューアル前に! ◎トッピング にんにくバジルマヨ・黒にんにく味噌・ニンニクカレー ◎みそ汁 枝豆味噌の味噌汁(板麩・ネギ)

☆学童だより

すくすく館上郷分館

上郷分館の子どもたちの良いところ...、それは『よく食べ、よく学び、よく遊ぶ』ところ! なんでも全力で怒ったり、泣いたり、笑ったり。今年の冬もいっぱい楽しんでくれました。



◎なんちゃって、チョコフォンデュ! 今日は、マシュマロと南部せんべい、りんごにバナナ……うまーい!!



◎なんちゃって、ひな茶会! 最高に美味しい和菓子とお茶で「おしゅうございます」♪



◎なんちゃって、フルーツポンチ! 自分だけのオリジナルフルーツポンチ! おかわりが止まらな〜い。



◎雪遊び中に穴掘り大会! なんということでしょう☆穴が繋がって雪の洞窟で握手ができました♪

楽しかったこの1年。4月からは学年が1つ上がり、心も体も大人に近づいていきます。これからもすくすく館上郷分館をどうぞよろしくお願いたします。

担当の板橋でした~(^^)

【すくすく館 ☎32-3115】



(写真9) 激戦のシングル2部



(写真10) リニューアルされるガリステごはん

◎前菜2018 Ver.

ニンニクと枝豆の冷製スープ	ニンニクと白菜のさっぱりキムチ	にんにくとごぼうの山の幸かき揚げ
赤パプリカと胡瓜とニンニクのピンチョスサラダ	田子豚のニンニクテリーヌ	にんにくとニラの一口チヂミ
にんにく人参ドレッシング	スペイン風大根と人参の紅白なます	にんにく生キャラメル

■ 児童扶養手当・特別児童扶養手当についてのお知らせ

平成30年4月から児童扶養手当額・特別児童扶養手当額が増額されます。



【児童扶養手当】

▼現行

子ども1人目 全部支給：42,290円（月額）

一部支給：42,280円～9,980円

子ども2人目 全部支給：9,900円（月額）

一部支給：9,980円～5,000円

3人目以降1人につき

全部支給：5,990円（月額）

一部支給：5,980円～3,000円

（いずれも所得に応じて10円きざみ）

▼平成30年4月～

子ども1人目 全部支給：42,500円（月額）

一部支給：42,490円～10,030円

子ども2人目 全部支給：10,040円（月額）

一部支給：10,030円～5,020円

3人目以降1人につき

全部支給：6,020円（月額）

一部支給：6,010円～3,010円

（いずれも所得に応じて10円きざみ）

【特別児童扶養手当】

▼現行

1級 51,450円（月額） 2級 34,270円（月額）

▼平成30年4月～

1級 51,700円（月額） 2級 34,430円（月額）

問 役場住民課子育て定住移住支援室（小原）

☎23-0678

■ 普通救命講習会受講者募集

▼日時 4月8日（日）午前9時から正午まで

▼申込期限 4月2日（月）まで

▼場所 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部4階
八戸市田向五丁目1番1号

問 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
指令救急課

☎0178-44-4857 FAX 0178-46-1171

Mail kyuukyuu@hachinohe119.jp

HP <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/koiki/>

●広報たっこでは、皆様からの情報提供をお待ちしています。紙面に掲載可能な行事などありましたら、下記までご連絡ください。 役場政策推進課 ☎20-7127

■ 田子町子ども医療費受給資格証の更新の手続きはお済みですか？

町では、町に在住の乳幼児・小学生・中学生の医療機関受診時の医療費を助成する「田子町子ども医療費助成事業」を行っています。

受給者の皆様に発行している「田子町子ども医療費受給資格証」は平成30年3月末日で有効期限切れとなりますので、まだ更新申請書を提出していない方は手続きしていただきますようお願いします。



▼受付窓口 役場住民課子育て定住移住支援室

▼対象者

- ・平成30年4月に小学校に入学する児童・小学生・中学生（平成30年3月に卒業する3年生を除く）
- ・障害のある方（高等部等に入学する児童、在学生）

▼申請時間 午前8時15分～午後5時（平日）

※夕方5時までに電話連絡をいただくことで、申請窓口の延長ができます。

▼持参するもの

○申請書 ○お子様の健康保険証 ○認印

※田子高校生は新年度の在学証明書が発行される4月以降に更新を行うこととなります。教育委員会から田子高校生がいらっしゃるご家庭に別途通知が郵送されます。

問 役場住民課子育て定住移住支援室（小原）

☎23-0678

■ 田子町国民健康保険（国保）の届け出について

国保に加入するときとやめるときなどの場合は、役場住民課に届け出が必要です。

◎国保に加入するとき

- ・職場の健康保険などをやめたとき
- ・他の市町村から転入したとき
- ・子どもが生まれたとき
- ・生活保護を受けなくなったとき

◎国保をやめるとき

- ・職場の健康保険などへ加入したとき
- ・他の市町村へ転出したとき
- ・死亡したとき
- ・生活保護を受け始めたとき



▼持参するもの

○印鑑 ○異動となる対象者全員と世帯主の個人番号（マイナンバー） ○健康保険の保険証、離職票、健康保険加入（喪失）証明書のいずれか1つ

問 役場住民課福祉グループ（尾形） ☎20-7119

■ 油流出事故防止について

家庭や事業所から油や薬品が流れ出す水質事故が多発しています。

水質事故が発生しますと、側溝や水路を通じ河川に流れ出ることもあります。河川は、水道用水、かんがい用水などとして利用されていますので、水質事故は地域全体に影響を及ぼし、動植物にも悪影響を与えます。水質事故の処理にかかった費用は、原因者の方に負担していただく場合があります。

ご家庭や事業所で、タンクの状況の再確認、除雪作業時の破損事故に注意しましょう。安全で安心な生活のためにご協力をよろしくお願いします。事故を起こした場合、または発見した場合は、市町村役場、消防署、警察署へご連絡ください。



問 岩木川・馬淵川水系水質汚濁対策連絡協議会事務局
青森河川国道事務所 河川占用調整課
☎017-734-4537 FAX 017-722-2530

■ 平成30年度協会けんぽ青森支部の保険料率について

全国健康保険協会（協会けんぽ）青森支部では、県内の中小企業の従業員とご家族が加入する健康保険事業を運営しています。

平成30年度における当支部の健康保険料率は、9.96%のまま据え置きとなります。

厳しい医療保険財政状況の中、協会けんぽのさまざまな取り組みにおける、加入者及び事業主の皆様のご理解とご協力に対して感謝申し上げます。保険料額はホームページからご覧いただけます。



問 全国健康保険協会青森支部
青森市長島二丁目25-3 ☎017-721-2713
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/aomori/>

■ 明治元年から150年

平成30年（2018年）は、明治元年（1868年）から起算して満150年に当たります。政府では「明治150年」関連施策として、地方公共団体や民間も含めて、全国で取り組みを推進しています。以下のホームページをご覧ください。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>



■ 好評！ふるさと納税

ふるさと納税制度（寄附金）は、平成20年度に「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されました。

この寄附金について、平成29年度の町の状況をお知らせします。

▼件数と金額（平成30年2月28日現在）

総件数 2,377件
総金額 42,473,017円

▼寄附金の希望用途

	金額(円)	割合
教育文化の充実	11,510,017	27.1%
保健福祉の充実	6,455,000	15.2%
産業経済の充実	13,125,000	30.9%
生活環境の充実	11,383,000	26.8%
合計	42,473,017	100.0%

▼お礼の品は「にんにく」が最多

項目別	割合
にんにく	42.5%
果物	25.1%
田子牛	23.1%
田子豚	1.7%
加工品・その他	7.6%
合計	100.0%



▼県別寄附者数

県内 90人
県外 2,287人
合計 2,377人

県内は八戸市が最も多く、次に青森市、弘前市、十和田市の順となっており、全都道府県の方々から寄附金（ふるさと納税）が寄せられています。

◎ふるさと納税は、自らが生まれ育った地域や、関わりが深い地域など応援したい都道府県・市町村への



「寄附金」のことです。寄附をした場合、2000円を超える部分について、所得税及び個人住民税から寄附金額に応じて一定額の控除を受けられます。

問 役場税務課税務グループ（大久保）☎20-7112

後期高齢者の皆様へ

○保険料の納付について

保険料は基本的に年金からの天引きですが、75歳の到達年度や所得によっては納付書でのお支払いとなります。納付書でお支払いの方は、納め忘れを防ぐためにも便利で確実な口座振替をご利用ください。口座振替への変更は町内の金融機関で随時受付しております。詳しくは、住民課福祉グループまでお問い合わせください。

保険料を滞納すると、通常より有効期限が短い保険証（短期被保険者証）が交付されることがあります。

○入院時食事療養費及び入院時生活療養費の標準負担額の変更について

平成30年4月より入院時の食費の負担額（食事代）及び医療療養病床に入院している65歳以上のみなさまの光熱水費（居住費）の負担額が変わります。



▼平成30年4月からの入院時食事療養費及び入院時生活療養費の標準負担額

所得区分	一般病床 ・精神病床等 食費(1食)	療養病床			
		医療の必要性の低い方		医療の必要性の高い方(指定難病の方以外)	
		食費(1食)	住居費(1日)	食費(1食)	住居費(1日)
一般	360円(※1)	生活療養(I)460円 生活療養(II)420円	370円	360円(※1)	200円(※3)
低所得II	210円(※2)	210円	370円	210円(※2)	200円(※3)
低所得I	100円	130円	370円	100円	200円(※3)
老齢福祉年金受給者 ・境界層該当者	100円	100円	0円	100円	0円

●現在
(3月31日まで)

所得区分	一般病床 ・精神病床等 食費(1食)	療養病床			
		医療の必要性の低い方		医療の必要性の高い方(指定難病の方以外)	
		食費(1食)	住居費(1日)	食費(1食)	住居費(1日)
一般	460円(※1)	生活療養(I)460円 生活療養(II)420円	370円	生活療養(I)460円 生活療養(II)420円	370円(※3)
低所得II	210円(※2)	210円	370円	210円(※2)	370円(※3)
低所得I	100円	130円	370円	100円	370円(※3)
老齢福祉年金受給者 ・境界層該当者	100円	100円	0円	100円	0円

●4月1日から

(※1) 指定難病の方または平成27年4月1日から継続して精神病床に入院している方は、260円となります。

(※2) 申請日より過去12カ月の入院日数が91日以上の方は160円となります。適用を受けるためには市町村窓口での申請が必要です。申請には入院日数が90日を超えていることが確認できるもの（領収書等）が必要です。

(※3) 指定難病の方は0円のまま据え置かれます。

なお、詳細につきましては、青森県後期高齢者医療広域連合(☎017-721-3821)までお問い合わせください。

あなたも参加 わたしもやります“交通安全” 平成30年 県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会 平成30年2月28日現在

	2月中	年間累計
発生	254件(-26)	453件(-139)
死者	2人(+1)	5人(-4)
傷者	326人(-25)	576人(-184)

※日速年※
あ変報比(へ
り更値で(内
ますのす内
するたまたは
す。こめた対
と後た前

◎死者の状態

年齢別	高齢者の死者(65歳以上の人)	5人(±0)
夜	夜間の死者	5人(±0)
状態別	歩行者の死者	3人(±0)
飲酒	飲酒運転による死者	0人(-1)
シート ベルト	自動車乗車中の死者	1人(-5)
	非着用死者	0人(-3)

毎月1日は「県民交通安全の日」
15日は「高齢者交通安全の日」

春の全国交通安全運動 4月6日(金)～15日(日)

(1)子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止 (2)自転車の安全利用の推進 (3)全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 (4)飲酒運転の根絶

☆歩行者の皆さんは…

- ・信号のある横断歩道を利用し、右折や左折の車両にも注意して渡りましょう。
- ・夕暮れ時・夜間の外出時には、反射材用品を着用しましょう。

☆運転者の皆さんは…

- ・安全確認を徹底し、速度を控え、思いやり運転を心掛けましょう。
- ・飲酒の翌朝も酔いが醒めたと過信せず、アルコールチェッカー等で確認をしましょう。
- ・後部座席もシートベルトを着用させましょう。
- ・チャイルドシートを正しく着用させましょう。



■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：小林)
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

平成30年度行事予定

※日程は変更になる場合があります。

●4月

- ▽29日(日)
新発見町内健康ウォーキング (4月～10月まで、7回開催します)



昨年の健康ウォーキング

●5月

- ▽30日(水)
田子町チャレンジデー2018 (町内全域)

●6月

- ▽9日(土)、10日(日)
第70回三戸郡総合体育大会 (主会場 三戸町)

●7月

- ▽21日(土)～23日(月)
キャンプワールド2018

- ▽28日(土)、29日(日)
第73回市町村対抗青森県民体育大会 (主会場 八戸市)

●8月

- ▽1日(水)～3日(金)
水泳教室 (町民プール)



昨年の水泳教室

●9月

- ▽2日(日)
第26回青森県民駅伝競走大会 (青森市)

- ▽9日(日)
第64回田子町民大運動会



昨年の駅伝競走大会

●10月

- ▽27日(土)、28日(日)
田子ひとくるめや文化祭

●1月

- ▽8日(火)
第45回新春書き初め大会
▽13日(日)
平成31年田子町成人式



昨年の書き初め大会

●2月

- ▽3日(日)
第41回田子町文化協会芸能発表会

- ▽17日(日)
平成30年度田子町生涯学習町民研修会
▽21日(木)
平成30年田子町文化賞・スポーツ賞表彰式

公民館講座予定

●中央公民館

- ・田子神楽養成講座 5月～10月 (12回)
- ・フラダンス講座 4月～3月 (24回)
- ・ヨガ健康講座 6月～12月 (14回)



昨年のフラダンス講座

- ・生け花講座 4月～3月 (12回)

●上郷公民館行事

- ・水曜わんぱくじゅく 5月～2月 (10回)
- ・フラワーアレンジメント教室 4月～2月 (11回)

公民館講座募集

自主運営による公民館講座を募集します。
活動したいことを講座にして、町民交流の輪を広げてみませんか。講座開設に向けてお手伝いしますので、お気軽に声をおかけください。
なお、募集は随時しております。

CHALLENGEDAY

チャレンジデースローガン 「運動で 毎日コツコツ 健康貯金」

昨年のチャレンジデーは、町民みなさまのご協力により、参加率80%を超えることができました。ありがとうございました。

今年は、岩手県葛巻町(24回目)と対戦します。チャレンジデーをきっかけに、毎日の運動をコツコツ積み重ね、自分の健康づくりのために取り組んでみましょう。

詳しくは、今後、配布するチラシをご覧ください。ケーブルテレビなどでお知らせします。

問 田子町チャレンジデー実行委員会

事務局 ☎20-7070

※詳細は、データ放送、チラシ、ポスターをご覧ください。

図書館情報

若い人に贈る読書のすすめ2018

●「若い人におすすめする本」展示と貸出

待ちに待った春です。「新しい学校、新しい生活に一歩踏み出したフレッシュなあなた」や、「いつまでもフレッシュでいたいあなた」におすすめする本を、集めて展示・貸出します。

どうぞこの機会に図書館をご利用ください。

○君たちはどう生きるか／吉野源三郎

○バッタを倒しにアフリカへ／前野ウルド浩太郎

○女の子が生きていくときに、覚えてほしいこと／西原理恵子



○「どうせ無理」と思っている君へ／植松努

○マルカン大食堂の奇跡／北山公路

○成功する人は偶然を味方にする／ロバート・H・フランク

●春の読書スタンプラリー

▼期間 4/21(土)～6/17(日)

▼対象 すべての図書館利用者

▼内容 期間中に図書館の本を1冊借りると、台紙にスタンプを1つ押します。スタンプを30個集めると、その場で粗品をプレゼントします。



本を読んでスタンプを集めよう!

●一人10冊まで貸出

▼期間 4/21(土)～6/17(日)

▼内容 一人10冊まで(通常は5冊まで)2週間貸出します。

●古雑誌・古本お持ち帰りコーナー

▼期間 4/28(土)～本がなくなり次第終了

▼対象 貸出券をお持ちの中学生以上の方

▼内容 図書館で受け入れて1年以上経過した雑誌、除籍した古本などを決められた冊数だけ差し上げます。

図書館おやすみカレンダー

2018							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7						
	8	9	10	11	12	13	14						
	15	16	17	18	19	20	21						
	22	23	24	25	26	27	28						
	29	30											

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館(担当:川村)
☎20-7221

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

4月の図書館行事

▼4/4(水) 午前10時
ブックスタート/せせらぎの郷

▼4/28(土) 午前10時30分
本の読みかかせととしゃかんクラブ
「おたふく」と「やっこ」のありがみ

▼4/28(土)～
古雑誌・古本お持ち帰りコーナー

※4/8(日)「本の読みかかせととしゃかんクラブ」はお休みです。

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日
(館内整理日)

新刊案内

●情報、子育て

▽A I vs. 教科書が読めない子どもたち/新井紀子/007ア

▽世界一幸せな子どもに親がしていること/リナ・マエ・アコスタ/599ア

●社会、軍事

▽社会保障便利事典平成30年版/364シ

▽八甲田山消された真実/伊藤薫/396イ

●健康、生活、料理

▽脳には妙なクセがある/池谷裕二/491イ

▽暮らしのおへそ25/590ク

▽たすかる料理/按田優子/596ア

●歴史・時代小説

▽げんげ/新・酔いどれ小藤次10/佐伯泰英/913サ

▽あきない正傳金と銀5/転流篇/高田郁/913タ

▽暁天の志/風の市兵衛21/辻堂魁/913ツ

▽本所おけら長屋5/畠山健二/913ハ

▽本所おけら長屋6/畠山健二/913ハ

▽玄鳥さりて/葉室麟/913ハ

▽日の名残り/隅田川御用帳14/藤原緋沙子/913フ

●ミステリー・サスペンス・警察小説など

▽浮雲心霊奇譚4/白蛇の理/神永学/カ

▽榎月/隠蔽捜査7/今野敏/913コ

▽掟上今日子の色見本/西尾維新/913ニ

▽広島電鉄殺人事件/西村京太郎/913ニ

▽ご用命とあらば、ゆりかごからお墓まで/真梨幸子/913マ

▽刑事の怒り/葉丸岳/913ヤ

●そのほかの小説など

▽海馬の尻尾/荻原浩/913オ

▽路上のX/桐野夏生/913キ

●エッセイ・手記など

▽オンナの奥義/阿川佐和子、大石静/914ア

▽暮らし自分流/下重暁子/914シ

▽病氣自慢/玉村豊男/914タ

▽美女は天下の回りもの/林真理子/914ハ

▽煙のようになって消えていきたいの/高峰秀子が遺した言葉/778サ

■警察署コーナー



●新入学児童を守ろう

春が到来し、新入学児童が通学や遊びなどで子どもたちの外出の機会が多くなります。児童は車輛や水の怖さに不慣れなことから、次のことに注意しましょう。

○車を運転される方は、道路等で小さな子どもを見かけたら飛び出し等に注意しましょう。

○河川敷や崖などの危険な場所を遊ぶ子どもを見かけたら声をかけましょう。

○小さい子どもと連れの保護者

■消防署コーナー



春の火災予防運動が4月9日から4月15日までの1週間『火の用心』ことばを形に『習慣に』を統一標語に県下一斉に実施されます。

これからの季節は空気が乾燥し、山火事や枯草火災が発生しやすくなります。たき火やたばこの投げ捨て、子どもの火遊びなど、小さな火からでも燃え広がりますので火の取扱いは十分注意してください。

また、田子町では、今年に入り3件の建物火災(平成30年2月28日現在)が発生しています。これ以上火災を起こさないため、次のことに気を付け、火事を出さないようにしましょう。

◎住宅防火のポイント

○練炭用のストーブ、コタツを使用する際は、十分に注意し、

の方は、手をつなぎ児童を守りましょう。

※右側を通行する際は児童を保護者の右手につなぎ、児童を車道の反対側にして飛び出しを防ぎましょう。

●上郷警察官連絡所の臨時開所について

上郷警察官連絡所を毎月臨時に開所します。4月は、第1月曜日(2日)は都合により開所しません。第3月曜日(16日)の午後は開所します。

▼三戸警察署

田子警察官駐在所

☎32-3109

可能であれば電気製品に換える。

○仏壇のろうそくの取扱いは十分注意し、可能であれば電灯式ろうそくに換える。

○ストーブの周囲に可燃物を置かないで使用し、給油する時は火を消す。

○寝たばこやたばこの投げ捨てを絶対に行わない。たばこの火はしっかりと消す。

○ガスコンロ等のそばを離れる時は、必ず火を消す。

○電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。

○普段から火を使う場所・電気製品の整理整頓をする。

▼三戸消防署

田子分署

☎32-3104

4月の主な保健・介護予防事業予定表

3 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	18 (水) こども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30～11:30
6 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	20 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30
10 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	24 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30
11 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:00～11:00	25 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:00～11:00
13 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	27 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30
17 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	ことばの教室 (田子保育園) 午前9:00～正午
	認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30

町の人口

平成30年2月28日現在

世帯数/2176 (+5)
人口/5646 (-1)
男/2730 (-4)
女/2916 (+3)
() 内は前月比です

誕生

- 村木風羽花 (功平・里愛) / 道前
- 中村麻玲 (浩士・知寿) / 嘉沢

※ () 内はご両親、"/" のあとは行政区です

結婚

- 尾形貴史 (清水頭) 加藤静梨香 (六戸町)
- 関口一禎 (宮野) 市川美香 (十和田市)

お悔やみ

- 牛間木ヒデ (82歳) サンモール
- 日向サナエ (91歳) 夏坂
- 石川繁穂 (78歳) 関上
- 村井ミエ (95歳) 下本町
- 大向芳太郎 (89歳) 遠瀬
- 立本 實 (76歳) 川向
- 大沢淳悦 (62歳) 北側
- 畠山 武 (65歳) 西館野

※ () 内は享年、() のあとは行政区です



健康・介護に関するご相談は
せせらぎの郷へ
☎20-7100



TCV(田子町ケーブルテレビジョン) からお知らせ

- ◎サポートセンター (月曜～金曜 午前9時～午後5時) ☎0120-557-759 (祝日を除く)
加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。
- ◎故障受付 (24時間) ☎0120-262-750
テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。

学校の話 田子幼稚園

●なわとび大会・2月7日

登園後、毎朝なわとびやフラフープの練習をしてから各活動に入ります。1回でも多く跳べるようにと一生懸命練習をする年長児の真似をして自分なりに頑張る年中・年少児たち。日々の練習成果を発揮する時がやってきました。今年こそは金メダルとるぞ!と張り切っていた子どもたち。

進行は年長児が務めました。ラジオ体操で体をほぐし準備万端。年長児は続けて跳んだ回数、年中児は1分間に跳んだ回数、年少児

は30秒間に跳んだ回数で決まります。いずれもチャンスは2回。数える係も年長児が担当しました。どの子どもも真剣勝負。一生懸命跳び、2回の合計点数で結果が出ました。金・銀・銅メダルを獲得できた子も、調子が悪かった子もみんなで頑張ったので達成感を味わうことができたようです。

午後はキッズデーの小学生もなわとび大会をし、様々な跳び方を園児たちに披露してくれました。

(原稿・画像提供 田子幼稚園)



俳句

茶柱の立つといふお茶受験の期 やなた翠芳(孝芳)

冬木の芽小さな力集めとり 原 瓢子(徳造)

また一つ届く計報や冴返る 森きよし(清)

身の老いに遅るる心冴え返る 川村キエ

ほほかぶり読みがらなる今日の染め 塚 つや子

ランドセル飾りて親も一年生 山本一枝子

廃校の在りし日のまま冴返る 中村麿也(忠充)

冴返る天より地より背中より 原 秋月(菊次郎)

ひとつづつ箱の暗さへ雛納む 佐藤桂水(善太郎)

タプコピアン文芸

みろく吟社(会長 築田孝芳)

みろく吟社では会員を募集しています。俳句に興味のある方は、築田(☎32・3878)か中村忠充(☎33・1468)までご連絡ください。

編集後記

今月号は各学校の卒業式を取り上げました。高校生は晴れ晴れとし、自らの将来を切り開く決意の込められた大人の表情。中学生は義務教育を終え、親の手を少し離れた大人の階段を上りはじめた哀愁の表情。幼稚園・保育園児は、長い時間を密に過ごした場所と大好きな先生たちから巣立つ寂しき、これから頑張らないと!の感情の顔がありました。1つだけ同じだったのは、親・先生・友への感謝の気持ちです。田子高校の答辞では、卒業する同級生一人一人の思い出や良いところを述べていました。少し緊張した面持ちだった卒業生が、彼らしい笑顔になったのが印象的でした。

(広報担当 おおくぼ)



旅立つ君たちに エールを！

～町内各学校卒業式～

町内各学校で卒業式が行われ、それぞれの進路に向かい新たな一歩を踏み出しました。



●田子高等学校
(中村まり子校長) 21名



●田子中学校
(佐藤邦彦校長) 44名



●田子小学校
(木村明彦校長) 32名



●清水頭小学校
(佐々木悟校長) 2名



●上郷小学校
(小笠原洋二校長) 4名



●田子幼稚園
(池田良園長) 7名



●田子保育園
(浪岡幸子園長) 22名



●上郷保育園
(工藤順子園長) 2名

若手消防職員から「新たな連携」を提言

2月9日、青森市で第41回青森県消防職員意見発表会が行われ、八戸消防本部の代表として三戸消防署田子分署の上野寿希也さんが出場しました。これは、県内各地域の選考を突破した11名により行われ、上野さんは非常招集時の子どもの預け先に苦慮する先輩の姿を見て、「新しい連携のかたち」をテーマに「女性消防団員による非常招集時保育制度」について発表しました。惜しくも最優秀賞には届きませんでした。優秀賞となり素晴らしい成績を残しました。

上野さんは「私の隊長が東北大会出場経験者で、的確なご指導をいただいたのと、分署の皆さんの手厚い応援で頑張れました。多くの人の前で話すのは苦手でしたが、克服のチャンスと思い出場しました。東北大会には届かず悔しい思いもしましたが、この経験を活かし、自分の意見をきちんと伝えられる職員を目指したいです」と笑顔で力強く語りました。



県大会での発表の様子



県大会優秀賞受賞時の上野さん(右)